

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	次世代への継承めざし 巨大人形劇さんしょううお 上演プロジェクト
事業主体 (連絡先)	さんしょううお実行委員会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,600,719 円

事業内容

▼世界人形劇フェスティバルに向けた「参加者募集・制作・稽古」および「人形劇講座」

飯田の人形劇文化と欧米の手法が融合したユニークな作品づくりをより多くの人に体験してもらった。

人形劇講座では「世界人形劇フェスティバル」に向けて世界への発信力を強めるために、国際的な人形劇作家 沢 則行氏による指導の機会を本番前も含め3回設けた。飯田下伊那地域の地域住民が各回40人参加。

▼人形づくりワークショップを開催。

地域住民にも人形劇の楽しさを知ってもらい、地域の人形劇の文化の発信を目指した。ワークショップでは作品に登場する人形をアレンジし小学生以下の子どもやその親に楽しんでもらう講座を5月3日開催。

▼世界人形劇フェスティバル2018での上演

平成30年8月3日～12日飯田下伊那在住のアマチュア約55名と人形劇作家 沢 則行氏が出演。観客数 2,100人。

▼旧松川東小学校での人形展示・操作体験

旧松川東小学校で「巨大人形劇さんしょううお」の人形を9月17日～12月26日に展示。操作体験も実施し、参加人数延べ30名。



【8月7日人形劇フェス上演】

【目標・ねらい】

- ①地域の人形劇文化の発信
- ②人形劇の担い手育成
- ③人形劇の次世代継承
- ④若者の地域活動参加

※自己評価【A】**【理由】**

観客数が想定より100人多く、全公演満席となった。さらに、100人以上の観客は会場に入りきれなかった。また、上演以外の事業でも、おおむね予定通りの参加人数を得られた。

事業効果

- ①上演参加者55名、上演観客数2,100人。また、活動は新聞、テレビ、地域情報誌に取り上げられた。
- ②地域住民の講座、制作、稽古参加者40人。
- ③小学校3年生～20代までののべ68人(講座3回+本番)が、制作・出演に携わった。2,100人の観客の多くは親子連れで、多くの子供たちが作品を鑑賞した。
- ④上記③に加え、若者たちが最年長64歳の大人たちとともに、地域の人形劇文化に関わった。また、ワークショップにも延べ58人の子どもが参加した。

今後の取り組み

人形や舞台セットなどは、メンテナンスを行いながら保管する。

短期的には、事業で経験を積んだ若者を中心とする参加者が、新たな人形劇づくりや、地元で開催される講座への参加など、次のチャレンジに向かうことを奨励し、実行委員会として協力していく。

中長期的には、想定以上の観客にご覧いただき、継続を望む多くの声をいただいたことから、今後、作品をなんらかの形で再上演し、ゆくゆくは地域の財産となることを視野に、方法を模索していく。